

リフレッシュ理科教室決算報告書（1/2）

2024 年 11 月 18 日

公益社団法人 応用物理学会
リフレッシュ理科教室 WG 代表者様

開催支部または分科会：応用物理学会北海道支部， 共催：北海道大学工学部（国立大学フェスタ 2024）， 日本物理教育学会北海道支部， 電気学会北海道支部， 電子情報通信学会北海道支部， 後援：札幌市教育委員会
開催責任者（支部長または分科会幹事長）：支部長 森田 隆二
開催連絡責任者：庶務幹事 柏本 史郎
連絡先：札幌市北区北 13 条西 8 北海道大学大学院工学研究院応用物理学部門 Email: kashimoto@eng.hokudai.ac.jp TEL: 011-706-6645

以下のとおりご報告いたします。
(全会場分の収支をまとめてご記載，もしくは会場毎収支のご記載，どちらでも問題ありません。
会場毎収支をご報告の場合は当ページを会場数分複製の上，ご報告ください。
対面実施形式とオンライン実施形式で報告書の様式が若干異なります。)

事業名：リフレッシュ理科教室－北大会場－ サイエンスオリエンテーリング in 札幌 2024			
リフレッシュ理科教室補助金額：300,000 円			
開催日：2024 年 10 月 19 日			
開催場所：北海道大学工学部			
決 算（収入合計と支出合計は同額になります）		（単位：円）	
収 入		支 出	
リフレッシュ理科教室補助金	300,000	印刷製本費 （資料・チラシ作成等）	227,700
参加費	0	賃借料 （会場費・プロジェクター等）	95,000
広告展示料	0	会議費 （弁当代等）	100,163
支部分科会からの支援金	340,334	通信運搬費 （郵送料等）	89,600
企業からの協賛金	0	消耗品費（実験材料・文具代等）	100,346
助成金（県・市など）	0	臨時雇賃金 【支払人数計 23 名】 （アルバイト賃金等）	135,000
(一社)電気学会北海道支部	100,000	諸謝金 【支払人数計 13 名】 （講師謝礼等）	76,245
(一社)電子情報通信学会北海道支部	100,000	雑費 （振込手数料等）	16,280
合 計	840,334	合 計	840,334

決算報告書は，支部（分科会）会計後 1 か月以内に応物事務局 教育企画委員会担当宛へ
各支部長・分科会幹事長に CC で共有の上メール添付（WORD 形式）にてご提出ください(原本不要で
す)．講師謝礼金やアルバイト代については，支払人数を必ず記載してください．

リフレッシュ理科教室実施報告書 (2/2) (対面実施形式)

以下のとおりご報告いたします。

事業名：リフレッシュ理科教室－北大会場－ サイエンスオリエンテーリング in 札幌 2024

開催日：2024 年 10 月 19 日

開催場所：北海道大学工学部

参加者人数

- ① 生徒・児童 : 中学生 8 名, 小学生 44 名, 未就学児 9 名
- ② 保護者・一般 : 55 名
- ③ 教諭等 : 1 名
- ④ スタッフ等 : 74 名 ※こちらには指導員やアルバイトの人数を記載ください。保険料の算出に使用します。

内容 (委員会での検討や本部への報告書作成のため、各会場の特徴や工夫していることなどについてご記入下さい。)

例：各会場の運営や参加対象などの特徴、教員対象の講演会・講習会、教育委員会との連携、地方公共団体との協力、他の団体との協力など。また、補助金に対する要望事項、他支部でも参考になる事項、良かった点、悪かった点など

※ここに掲載する写真等は応用物理学会 HP に掲載しても良い内容でお願いいたします。

※肖像権などにご配慮いただき、後ろから撮影した写真等をご利用ください。

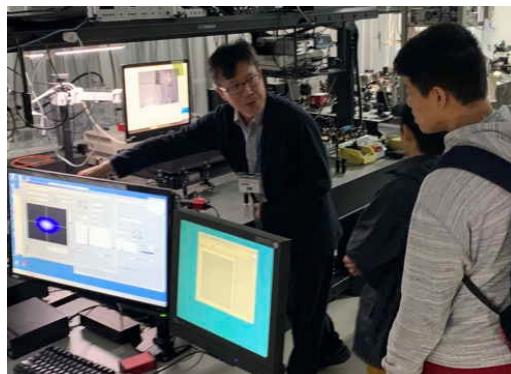
「リフレッシュ理科教室-北大会場-」ではもともと「おもしろ理科実験」と「施設見学」の二つのイベントにより、児童・生徒とその保護者および初等・中等教育の教員を対象に約 200 名の参加者を受け入れ実施してきた。しかしながら 2019 年は応用物理学会秋季学術講演会期間中での同時開催要請、2020 年以降は感染症対策により、直近の 5 年間は「おもしろ理科実験」のみで実施され、参加者数も 100 名 (2019)、50～76 名 (2020～2023) と開催規模の縮小を余儀なくされてきた。本年度は、1) 感染症対策などによる制限がなくなり、2) 参加者や支部会員から「施設見学をまたやって欲しい」との声が上がっていたことから、6 年振りに「施設見学」を再開し、参加者数も 100 名以上に増やしての実施となった。

1. 「おもしろ理科実験」は日本物理教育学会北海道支部との共催で、地域の理科教育事業の振興に尽力されている中学校・高等学校の教員や科学サークルの方々に講師を依頼し、参加者がその場で体験できる理科実験種目を提供している。「おもしろ理科実験」では内容的に小学生の低・中学年が対象になりがちであり、実際にこの 5 年間「おもしろ理科実験」のみの開催だったためか、「リフレッシュ理科教室-北大会場-」への中・高生の参加が以前と比べて少ないことが懸念の一つであった。そこで大学進学がそう遠くない中学生の参加者を増やす試みの一つとして、今回初めて講師として理科実験を教える側での中学生の参加を企画した。すでに他イベントで同様の活動実績がある札幌市立向陵中学校科学部に相談したところ快諾が得られ、3 種目 (生徒 19 名、引率教員 2 名) での協力が得られた。当日の当該ブース (写真右) の賑わいだけではなく、参加者アンケートにおいても日本物理教育学会北海道支部による種目と比較し遜色のない好評が得られる結果となった。参加生徒の男女比も 8:11 と女子生徒のほうが多く、この分野での将来的な男女共同参画推進の観点からも次年度以降の中学校科学部を取り込んだ企画の発展を検討中である。



「おもしろ理科実験」

2. 「施設見学」は北海道大学の教員が講師を務め、普段研究や実習で使用している装置や実験室で実施する種目である。久しぶりの実施にも関わらず工学部を中心に 7 研究室から協力を得ることができ、ナノサイエンス、半導体、超伝導・超低温、レーザーなどの世間一般で少なくとも名称はよく知られている分野の最先端の研究に触れてもらう機会を提供することができた。参加者アンケートでも小学校高学年の児童や保護者を中心に「普段は見られない施設・装置に触れることができてよかった」、「研究の実際を知ることができた」といった記載が多く見られ、北大会場で行うリフレッシュ理科教室には「施設見学」が必要不可欠であることが再認識された。講師として協力いただいた北大教員からも、「今回の参加者の反応を踏まえて、来年はさらに内容を発展させて参加したい」、「たくさんの子供達の純粋な様子を見て心が洗われた」等のポジティブな感想を多数いただいたことで、今回限りの再開ではなく来年度以降も引き続き「施設見学」を行う予定で実施計画の検討をすでに始めている。



「施設見学」

3. 他団体との協力については「おもしろ理科実験」共催の物理教育学会北海道支部だけではなく、電気学会北海道支部および電子情報通信学会北海道支部からも共催金を含めた御協力をいただき、地元の札幌市教育委員会からは名義後援としてサポートを受けている。また、広報活動において以前から市内の学校、児童会館、科学施設等にポスター・リーフレットの送付を行なっていたが、親子で一緒に眼にする機会を増やす意図から今回初めて地元のスーパーでのポスター掲示を数件依頼してみた。依頼したスーパー側の反応はどれも極めて好意的で、社内規則においても学会のような団体が主催する“参加費無料”のイベントであれば掲示が可能とのことであった。今後は参加者アンケートの「どこでこのイベントを知ったか」の回答結果等をもとに、より効果的な方法での広報活動を進める予定である。

4. 参加者アンケートの集計結果として特筆すべき点は、「リフレッシュ理科教室に参加して：期待以上(85%)、期待通り(15%)、期待以下(0%)」、「また参加したい：ぜひ(86%)、できれば(14%)、おそらくしない(0%)」と有効回答数 100 件において好意的な回答が 100%となったことがあげられる。自由記載欄でも運営に対する御意見が数件あったものの、各種目内容に関しては「おもしろかった」、「楽しかった」、「ためになった」という記載がほとんどで、このイベントを開催することの意義が十分に感じられる結果であった。開催前の参加者募集の時点でも、昨年度は約 80 名の参加応募に 5 日間要したのに対し、今年度は募集開始後わずか 6 時間半で 120 名に達し、この地域での子供達が参加する理科・科学イベントへの要望の高さを例年以上に実感する開催となった。

5. 予算に関しては上述の「施設見学」の再開、中学校科学部の参加、参加者数の増加などに加え、近年の物価高に伴う各コストの上昇に伴い昨年度より支出が約 3 割増となった。未来を担う子供たちに対する科学啓発活動への支出も「公益社団法人」として適切に行うべきとの支部長方針で、本部補助金で足りない分を支部からの支援金で賄った。しかしながら支部の財産残高にも限りがあることと、北海道地区は大企業が少なく協賛金などの収入を得ることが容易ではないため、長期的には必要な支出に対する本部補助金増額の検討をぜひお願いしたい。

実施報告書は、リフレッシュ理科教室開催後 1 か月以内 に **応物事務局 教育企画委員会担当宛** まで各支部長・分科会幹事長に CC で共有の上メール添付 (WORD 形式) にてご提出ください (原本不要です)。